

使われなくなった
のこぎり屋根工場
今後を語る座談会

第八回

報告書

のこぎり座

座談会内容

『散策・玉ノ井』

日時、平成二十九年五月二十一日

午前十時～正午

場所、名鉄尾西線玉ノ井駅周辺

第八回のコ座 『散策・玉ノ井』

日時 平成 29 年 5 月 21 日 10:00 ～ 12:00

場所 名鉄尾西線玉ノ井駅周辺

第六回のコ座「のこぎりマッピング」で集めた情報をもとに、実際に街を歩きながら現場へ赴きます。運良く工場の持ち主さんに会えたら、色々な話を伺いたいと思います。

この日は名鉄尾西線の終点玉ノ井駅で集合しました。玉ノ井の駅はホームに降りるとまず 5 + 4 連の黄色いのこぎり屋根が迎えてくれます。名鉄の赤い電車と相まって玉ノ井駅の象徴的な風景になっています。

まず最初に訪れたのは玉ノ井駅からすぐの葛利毛織さん。日曜でお休みの中、専務の聡さんに工場の中を案内して頂きました。葛利毛織さんの歴史や、織物の仕組み、工程（経糸の準備、整経、綜統通し、箆通し、緯糸の準備、製織、検反）を工場の中を回りながら丁寧に教えて頂きました。気の遠くなるような細かな作業や、頭の中で整理できない難解な工程を目の当たりにして、繊維業の奥深さを少しだけ感じられた気がしました。







また、葛利毛織さんの工場で製造されたサンプルを見学の最後に見せて頂きました。素材の変化はもちろんです、製織や整理の仕方で表情がガラリと変わる布の不思議を次々に見せられ、参加者の皆さんの驚きの声や質問は止まりませんでした。

葛利毛織さんは今でもションヘル織機を導入され使い続けていらっしゃいます。最近もションヘル織機を二台、廃業になった他の工場から導入されたそうです。どんどん廃棄されてしまうションヘル織機ですが、余程のことがない限りもう生産されることはないであろうと聰さんもおっしゃられました。葛利毛織さんは、このションヘル織機でしか出すことのできない風合いや特徴を大切になさっており、ぶれることのない信念を持って織物と対峙されている、そんなことを感じました。

その後、近くにある鉄骨造モルタル壁仕上げ 10 連の工場を持つ尾州ウールさんを訪ねました。ここは現在稼働している撚糸工場です。この地域では珍しい鉄骨造、そして 10 連という長さに加え、薄い青緑色と補修の跡が面白い表情を作っており、印象的な工場です。北窓は勾配がなく垂直に取付けられており、開閉可能に見えました。

下見の際に事務所の方と話をする機会がありましたが、残念ながら見学の見学は下りませんでした。気さくな方でしたが、中は企業秘密ということでした。





土壁の塀のある細い路地を北にあがっていくと、玉ノ井児童遊園の目の前にある6連の工場に行き着きます。ここは木造板張りで、今は稼働はしておらず、倉庫として貸しているそうです。遊園周辺は工場が密集しており、大きなお屋敷も多くあります。まだガッチャンガッチャンと音がする工場もありました。

細い路地は続きます。路地はそれぞれのお宅の個性をととても近くで感じられる場所です。高低差をつくる石垣、立派な大谷石の塀、何でもないコンクリートブロックにある可笑しい仕掛け。

大きな月極め駐車場の前にお屋敷とセットののこぎり屋根を見て、今度は堤防道路の反対側の路地を南下します。この辺りは二重堤になっており、左右に堤防が見えます。そしてこの細い路地にも、規模は小さいですが特徴のある工場がたくさん並んでいます。

角地に建つ隅きりされた1連の工場。

屋根がM字になっており、北からも南からも採光がとれる工場。

上品な色の工場。真っ青な工場。尾州ピンク塗り立ての工場等々。

この路地には工場だけではなく茅葺き屋根の家屋も多く残っており、それを見て回るのも面白いです。





最後は玉ノ井駅のすぐ横にある5連+事務所+4連の南北に長い工場へ戻ってきました。この工場は現在稼働しておらず、物置として使われています。ホーム側は黄土色のトタン、路地側は黒い板張りです。細い路地の向かいはおそらく持ち主さんのご自宅で、黒い板塀が続いており、路地全体がとても良い雰囲気です。黒い工場の間にある白い事務所棟も印象的でした。

下見でもこの工場は訪ねました。その日はたまたま持ち主の方がいらっしゃったのでお話を伺い、特別に中を見せて頂きました。色々な物が置いてありましたが、中は大きくきれいでした。持ち主の方は今さら活用は難しいとおっしゃっていましたが、ランドマーク的なこの工場をどうしていくのか、持ち主のご家族だけの悩みにしてしまっただけではないような気がしています。

玉ノ井は他の地域に比べて板張りの美しい工場が多く残っているのが印象的でした。それらの工場に加え、面白い路地や風景が楽しめる、一宮では貴重な地域だと思います。

次回は起を散策します。暑くなりそうなので、湊屋さんに寄ったりしながら、ゆっくりと散策したいと思います。よろしくお願い致します。

平松毛織株式会社 取締役
平松久典

のこ座

木曾川

十

